

## 【シリーズあれから2年】

早春の日差しがさす中、明石、江井ヶ島の海沿いのお宅にお伺いしました。

お客様との出会いは、今から二年前の神戸新聞の記事（大黒柱の家づくりを紹介）がきっかけでした。奥様は疑心暗鬼で、木のすまい協議会正会員の工務店に電話をかけられたそうです。

何度か会って、説明を聞いているうちに女性設計者と打ち解け、信頼が芽生えるようになったそうです。



## 木のすまい仕様の家 ふれあい創り上げました。



そしてご主人、ご祖母様に、「家族の夢を叶えてくれるのはこの人。この設計者に夢を託しましょう」と話されたそうです。奥様はご主人、ご祖母、子供さまの意に沿うよう気配りしながら、これらのことを打ち合わせを通して伝え、設計者もその意図を汲み取り、図面に反映させていきました。

当時のことを振り返り設計者は、「すまいの設計者は、奥様です。私はそのお手伝いをさせていただいたのです。そして何より楽しく仕事をさせてもらったことを感謝しています」と語っていました。

お客様と創り手——それぞれ人と人のふれあいが良いすまいを創り上げていくことにつながっていくのではないのでしょうか。

奥様は、「この家に住んで一年が過ぎ、木のすまいとともに四季を体感して本当によかったです」と楽しそうに話されました。

## 【新しい家ほど換気が必要!】

高温多湿で雨が多い日本では、昔から暑さや伝染病、食中毒を防ぎ、夏をいかに快適に過ごすかが、家づくりの基本でした。材料には木・土・紙・草などを用い、間仕切りも障子や襖などを開け放せるよう工夫することで、風通しのよい建物を伝統的な家づくりとしてきたのです。そのため、空気質の換気よりも、すきま風による寒気（かんき）の方が大きな問題でした。

現在は日本の家の近代化に伴い、建物のすき間を埋め、高気密な家へと進化・普及が進みました。

すき間風がなくなった分、どこかで新鮮な空気を入れたり空気の汚れを出したりする工夫が必要です。しかし、それに気付いたのは、室内空気質やアレルギーといった人間の健康に関する重大な問題が起こったからのことでした。

家を設計するときから、きちんと換気計画を考え、実際の生活の中で、住む側が意識的に換気を心がけていくことが大切です。

ひょうご木のすまい協議会

会長 三渡 啓介

### 【兵庫県林務課からのお知らせ】

県産木材利用融資の利率が、1.8%になりました。

昨年11月より県内産の瓦を使って住宅を新築又はリフォームする場合、既存の制度融資に200万円を上乗せできます。

新築・増改築  
最高融資額：2,200万円（返済期間25年以内）  
リフォーム  
最高融資額：700万円（返済期間10年以内）  
いずれも融資金利は平成20年度上半期1.8%固定。平成20年9月30日までに融資実行されたものに適用されます。  
詳しくは <http://web.prefhyogo.jp> まで

## — ひょうご木のすまい協議会のイベントご案内 —

シーガ芦屋モデルハウス 随時見学できます。  
芦屋ウォーターフロントに兵庫県産木材を使用した、木のすまいのモデルハウスが昨秋、オープンしました。シーガ芦屋は兵庫県企業庁による県産木材使用住宅建設及び販売事業で建築条件付宅地分譲2区画（モデルハウス：3区画含む）を県審査委員会の選考で当選した事業者により運営販売を行っています。  
見学は、10:00～18:00（水曜日を除く）です。  
詳しくは事務局までお問合せ下さい。



ひょうごの木で家を作る『家づくりセミナー』（第3期）  
兵庫県産の木材を利用した家づくりを学ぶ「家づくりセミナー」を開催します。再生産可能で産地や性能・品質が明確な県産木材を活用した住まいづくりは、安心で安全、しかも環境との共生にも配慮した健康で楽しいライフスタイルを提供します。計4回の講座を通し、木の家の良さや家づくりを進めていく上でのポイントを図解や映像を活用し解り易く解説します。

開催日

- 第1回】終了しました。
- 第2回】H20年5月24日（土）
- 第3回】H20年6月28日（土）
- 第4回】H20年7月26日（土）

- ・時間 13:00～15:00
- ・費用 1,000円（各回 一家族）
- ・場所 兵庫県民会館  
JR 阪神 元町 駅より徒歩7分  
地下鉄 県庁前 東・2番出口すぐ  
市バス 県民会館前 下車すぐ

詳しくは事務局までお問合せ下さい。

